

スندا語

平成23年度 東京外国語大学オープンアカデミー

『外語大の教師が熱中するもうひとつの言語』

降幡 正志 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院言語文化部門)

1. インドネシアとインドネシアの言語

1.1. インドネシア地域の概要

国名：インドネシア共和国 (Republik Indonesia)
首都：ジャカルタ首都特別区 (Daerah Khusus Ibukota Jakarta : DKI Jakarta)
国土：約17,500の島々からなる島嶼国家
面積約190万平方キロメートル(日本の約5倍)
北緯6度08分から南緯11度15分, 東経94度45分から141度05分に広がる
気候：大部分が熱帯雨林気候
人口：約2億4000万人(2009年推計)
宗教：イスラム教(約90%), キリスト教(カトリック/プロテスタント), 仏教, ヒンドゥー教, 儒教
スローガン：「多様性の中の統一」(Bhinneka Tunggal Ika)
国章：ガルダ(想像上の鳥, ウィシュヌ神の乗り物)
独立記念日：8月17日(1945年8月17日に独立が宣言された)

1.2. インドネシア語

使用地域：インドネシア共和国(国語), 東ティモール民主共和国(実用語)
話者人口：母語話者数 3千万~6千万, 第二言語としての話者数 1億4千万以上
歴史的経緯：ムラユ語の1バリエーション
※ムラユ語 ~ マラッカ海峡周辺(スマトラ島・マレー半島)における古来からの
交易用語(lingua franca)
※民族運動が高まる中、オランダ領東インドの枠組を自ら「インドネシア」と呼び、
統一言語として「インドネシア語」と公式に命名。

【参考】『青年の誓い』(Sumpah Pemuda) : 1928年10月28日, 第2回インドネシア青年会議

1. 我々インドネシアの青年男女は1つの祖国インドネシアを承認する。
2. 我々インドネシアの青年男女は1つの民族インドネシア民族を承認する。
3. 我々インドネシアの青年男女は統一言語インドネシア語を尊重する。

【参考】東ティモールの言語

国語 ~ テトゥン語および他の地域語
公用語 ~ テトゥン語およびポルトガル語
実用語 ~ インドネシア語および英語

1.3. インドネシアの言語

地方語：ジャワ語(約38%), スندا語(約15%), マドゥラ語(約4.3%),
ミナンカバウ語(約2.2%), ブギス語(約2.0%), バタック語(約1.9%),
バンジャル語(約1.7%), バリ語(約1.6%).....
※“Ethnologue” (<http://www.ethnologue.com>) には726言語^(?) がリストアップ
※公用語としてのインドネシア語, 生活言語としての地方語

2. 二重言語社会 —— スンダ地方を例として ——

2.1. スンダ地方

スンダ地方：ジャワ島の西3分の1ほど、西部ジャワ州とバンテン州にほぼ重なる

中心都市：バンドゥン(Bandung：西部ジャワ州の州都)

※アジア・アフリカ会議(バンドゥン会議:1955年)

スンダ語：話者人口は約3,000万人

宗教：大半がイスラム教徒

スンダ文化：儀式・通過儀礼(割礼, 結婚式など). 豊富な伝統芸能. 新たな要素との融合

文学(口承文学, 民話, 詩, 小説……),

踊り(伝統舞踊, ジャイポンガン jaipongan……),

音楽(ガムラン gamelan, チアンジュラン cianjuran,

カチャピ・スリン kacapi suling, ポップ・スンダ pop sunda……),

ワヤン・ゴレック wayang golek, シシンガアン sisingaan, 等々

2.2. スンダ語の特徴

敬語体系：・ジャワ語から「敬語体系使用」の概念の「輸入」

・約600語の通常語(kasar)に対する尊敬語(lemes)・謙讓語(sedeng)・(丁寧語)の入れ替え

動詞先導詞：・特定の動詞または形容詞と呼応関係にある語

・動詞や形容詞と共に用いることも、単独で用いて動詞や形容詞の意を表すこともある

am dahar (dahar:食べる)	gék diuk (diuk:座る)
barakatak seuri (seuri:笑う)	ngeplak bodas (bodas:白い)
cf. 日本語「ゲラゲラ笑う」「すくと立つ」「チンする」	

teh と mah：・共に句末に用いられ、題目(topic)を明示するマーカーとして機能する

・特に mah は「他者との対照」を示す

・日本語の助詞「は」に比べられる

「何ですか、これは？」	Naon ieu téh ?
	何 これ
「私は構いません」	Abdi mah teu nanaon.
	私 (否定) 何も
「ここでは煙草を吸ってはいけません」	Teu kenging nyesep di dieu teh.
	(否定) (許可) 煙草を吸う ここで
	Teu kenging nyesep di dieu mah.

接中辞 -ar-：・接中辞 ~ 語頭の子音とそれに続く母音の間に挟まれる形で現れる文法要素

・スンダ語の接中辞 -ar- は「複数」を表す

budak 「子供」	barudak「子供(複数)」
bobo 「寝る」	barobo「寝る」(2人以上)
beresih 「きれい」	bareresih「どれもこれもきれい」
ulin 「遊ぶ」	arulin「遊ぶ」(2人以上)
puguh 「もちろん, 当然」	teu pararuguh「全然はつきりしない」

■表1 スンダ語の敬語語彙の例

日本語	インドネシア語	スンダ語		
		通常語	謙讓語	尊敬語
父	ayah, bapak	bapa	pun bapa	tuang rama
母	ibu	indung	pun biang	tuang ibu
手	tangan	leungeun		panangan
頭	kepala	sirah		mastaka
名前	nama	ngaran	wasta	jenengan
			nami	
行く	pergi	Indit	mios	angkat
来る	datang	datang	dongkap	sumping
食べる	makan	dahar	neda	tuang
運ぶ	membawa	mawa	ngabantun	nyandak
取る	mengambil	nyokot		
送る	mengirim	ngirim	ngintun	
重い	berat	beurat	abot	
【未来】	mau, akan	Rék	badé	
良い	baik	Alus	saé	
虱	kutu	kutu		puntang

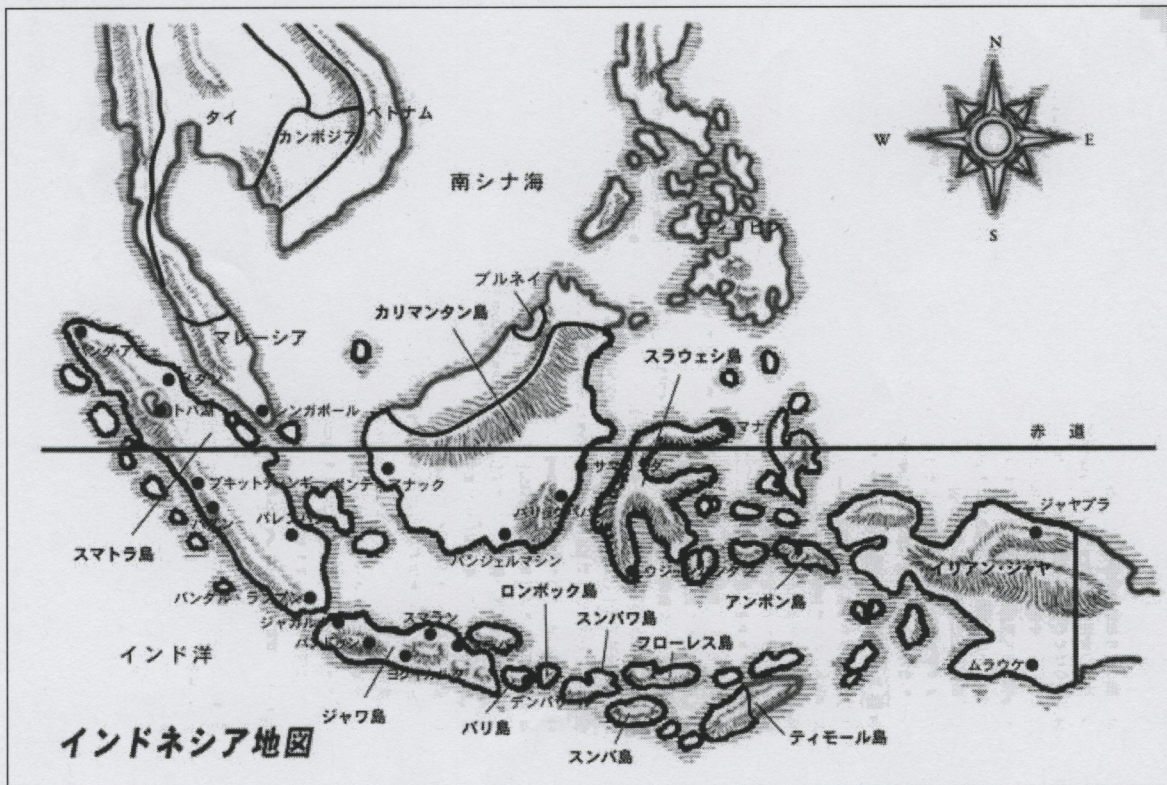
■表2 スンダ語－インドネシア語間のコードスイッチング (Widjakusumah[1986])

	スンダ語 → インドネシア語	インドネシア語 → スンダ語
1.	スンダ語を話せない(話し慣れていない)と思われる第三者の登場	スンダ語を話せない(話し慣れていない)と思われる第三者の退場
2.	話題が技術的な内容に移行	話題が技術的な内容から技術的ではない内容に移行
3.	場面が家族的雰囲気から学校の雰囲気へ(くつろいだ雰囲気から業務的雰囲気へ、スンダ的雰囲気からインドネシア的雰囲気へ)	場面が学校の雰囲気から家族的雰囲気へ(業務的雰囲気からくつろいだ雰囲気・非業務的雰囲気へ、インドネシア的雰囲気からスンダ的雰囲気へ)
4.	「教養がある」ことを示したい、田舎ではなく都会の人間であることを示したい	日常生活の中で日常的な話題について「同郷者」とスンダ語を話さないと違和感を感じる
5.	話し相手との社会的距離を置きたい(スンダ的雰囲気－緊密、インドネシア的雰囲気－緊密でない)	話し相手との社会的距離を近づけたい
6.	スンダ語の敬語表現の選択の義務を避けようとする	スンダ語の丁寧体で丁寧さを示したい、通常体で親密さを示したい
7.	他の場面の会話を引用する	他の場面の会話を引用する
8.	インドネシア語にコードスイッチングした話し相手の影響を受ける	スンダ語にコードスイッチングした話し相手の影響を受ける
9.	より若い世代と会話する	同じ会話の状況・場面で、年輩の世代が若い世代とインドネシア語で話した後に年輩の世代と会話する、若い世代が若い世代とインドネシア語で話した後に年輩の世代と会話する
10.	公共の場所にいると感じる	公共の場ではなく家あるいは自身の場所にいると感じる
11.	母語が本当はスンダ語ではないことを示したい	スンダ語が第一言語である、または第一言語でなくてもスンダ語が流暢である(スンダ語を話したい)ことを示したい
12.	書き言葉や電話など、他のメディアの使用へと移る	日常のメディアの使用に移る(電話などの道具を用いない話し言葉)

■東アジア・東南アジア



■インドネシア



■ジャワ島西部の行政区



■スندا語の分布

